

カード
デ
ック
ス

家庭的 心理的 背景
看護計画

体温表
症状所見 看護記録

「注」

体温表は一ヶ月毎に個別カルテにとじ込んでいく。

患児の背景記録欄は3ヶ月毎に記載を更新してゆく。

〔結果及び考察〕

ビジブルブックの中に体温表を挿入した事で患児の精神的、身体的状況が同時に把握できる様になり、医師も含めた病棟の全スタッフが同一の記録用紙を使用する中で毎日のチームカンファレンスの場での意見交換が非常に活発になり、加えて看護計画欄も充分活用される様になってきた。しかしカードの大きさをビジブルケースの大きさに合わせた為、当初予定していたサイズより小さいものを作成してしまい、記録スペースが狭い為に、記録の大半を看護面が占める傾向がでているので今後も検討を重ねていきたい。

37. 筋ジストロフィー重症病棟における環境衛生調査 (第一報)

国立徳島療養所10病棟

坂本 政子 福田 シゲル

他10病棟スタッフ一同

〔はじめに〕

私達の病棟においては、最近職員外の出入りがかなりみられ、また患者達においては青年期を迎へ外部との交流も多くなっている。そこで私達は病棟の衛生学的環境をよくするために以下の研究を行った。

研究期間は、昭和52年2月から昭和52年12月までとした。

〔研究方法〕

測定した項目及び器械類は表に示す。

	測定項目	使用器械	
①	室温湿度	アースマン通風寒暖計	シバタ
②	風速	熱線風速計	池本理化学
③	浮遊じんあい、降下じんあい	粉じん計	シバタ
④	不快音の測定	騒音計	リオン
⑤	明るさの測定	照度計	シバタ AN A-300 型
⑥	輻射熱	黒球寒暖計	シバタ
⑦	落下細菌の採取	オートインフュージョン寒天培地	

季節、時間帯、場所別に、①病室内気象条件—室温、湿度、感覚温度、気流、②病室内汚染条件—粉じん、落下細菌、③その他—照度、騒音について測定した。なお行事実施時には、関係者及び外来者にアンケートを、おこない、行事実施前後における汚染状況は落下細菌をもって示した。

〔結果及び考察〕

① 病室内気象条件では、著しい変化は認められなかった。これは冬暖房、夏全室窓開放、食堂及び一部病室クーラー使用のためではないかと思われる。

② 落下細菌は床面と床上90cmにおけるコロニー数の変動はみられなかった。しかし8月のファイヤーストーム実施時においてコロニー数は激増している。これは多数の外来者出入りがあったためである。場所別には清潔区域である食堂が他の場所よりもコロニー数が少なかった。

(図1) 又行事実施時における落下細菌は図2のように学校祭実施日には、外来者ピークの11時

図 1

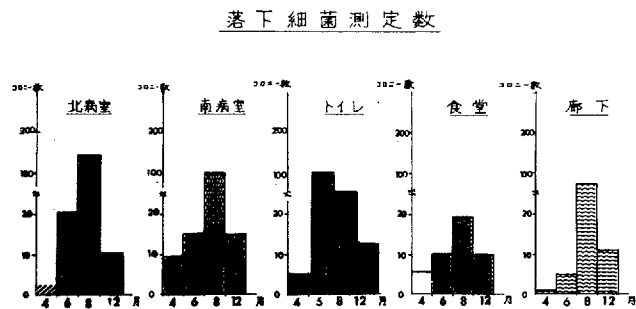
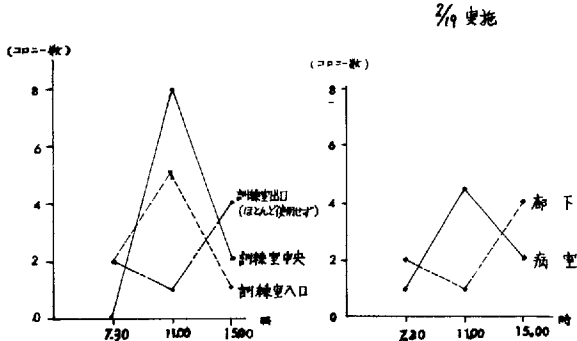
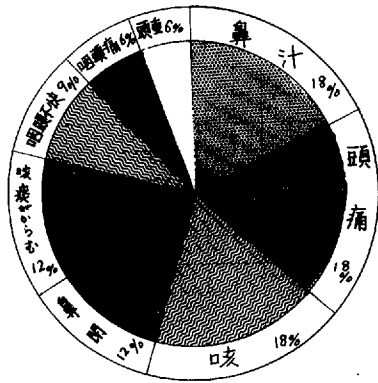


図2 学校祭における室内落下細菌数



菌、双球菌などがみとめられた。

図3 外来者のアンケート結果



3/9 実施

③ 照度では図4のように夏では昼間の平均基準照度は十分な明るさが保たれていた。しかし夜間においては最低照度に達していなかった。場所別には廊下において低い値を示していた。

次に冬では図5のように夏よりも全体に低い値を示している。しかし、昼と夜間の照度は夏と同じ傾向であった。なお廊下は夏にもみられたように明るさの不足がみられた。これらの改善等については検討中である。

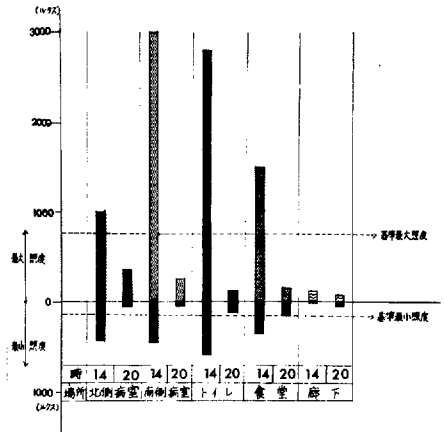
④騒音測定結果では図6のように四季を通じ基準騒音よりもはるかに高かった。なかでも夜間に

にコロニー数は増加、終了後減少している。

同時に病室内においてもコロニー数は増加していた。なお学校祭のとき外来者42名に対して行ったアンケートでは図3のような症状をもったものがいた。入所患者27人の感染症罹患状況は、2月5人、4月5人、6月1人、8月2人、12月6人である。落下細菌培養では、ブドウ球菌、桿

図4

光学的条件 (夏)



おける騒音の増加が著しかった。これは昨年度のタイムスタディからもうかがわれるようにゼミナール、ハム交信、ラジオ、テレビ等、患者の移動とか集団活動の時間帯である。又、電動ベッドの操作音も影響がある。

図5

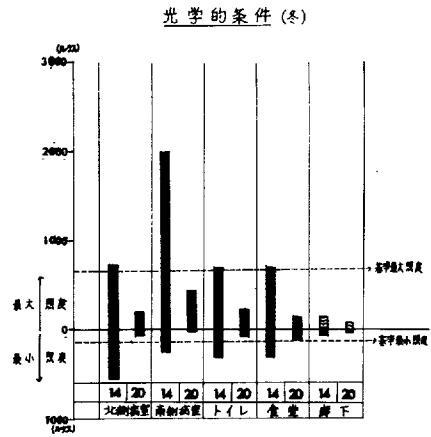
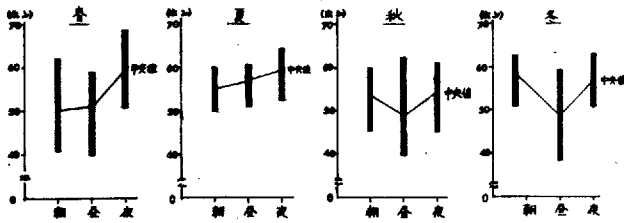
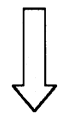


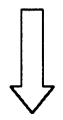
図6

騒音測定結果





検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



〔はじめに〕

私達の病棟においては、最近職員外の出入りがかなりみられ、また患者達においては青年期を迎へ外部との交流も多くなっている。そこで私達は病棟の衛生学的環境をよくするために以下の研究を行った。

研究期間は、昭和 52 年 2 月から昭和 52 年 12 月までとした。